

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和元年5月)

～10連休の反動減などで現状判断は2年11か月ぶりの水準に低下～

- 景気ウォッチャー調査・5月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が2か月ぶりの低下となった。DIの水準は、好不調の判断の分かれ目である50を6か月連続で下回ったほか、2年11か月ぶりの低水準となった。また、先行き判断も3か月ぶりの低下となっている。
- 足元の景気については、月初はゴールデンウィークの影響で旅行・レジャー関連を中心に堅調な推移となったものの、その後の反動減は大きく、一般小売店やスーパーなどにも広がった。また、消費増税に伴う動きについては、住宅や家電の駆け込み需要が限定的にとどまったほか、幅広い節約志向の強化につながったことで、消費全体の下押し圧力となった。その一方、気温が例年よりも高めの推移となったことで、食品や衣類などを中心に、夏物商品が好調に動いている。
- 先行きについては、気温要因がプラスにはたらき、夏物商品が好調に動くとみられているほか、インバウンドによる需要の下支えにも期待が集まっている。それに対し、消費増税に対する動きについては、10月が近づくにつれて、住宅や家電、自動車、雑貨類などで駆け込み需要が増えるという予想と、増税後への不安から節約志向が強まるとの見方が混在している。また、G20大阪サミットの開催を月末に控え、交通規制の影響や物流の混乱に対する不安の声も高まっている。
- 一方、米国による中国への輸入関税が引き上げ、さらなる引上げも取りざたされる中、その影響への不安の声は多い。製造業からは中国向けの荷動きの減少を懸念する声が聞かれるほか、百貨店を中心に、株価の下落による高額品の売行きへの不安の声も広がっている。

「ゴールデンウィーク・10連休」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	良くなる	競輪場(職員)	・3か月前の客単価は9,800円で、今月は10,241円となった。改元や10連休の効果で、一時的に良くなっている。
	やや良くなる	一般レストラン(経営者)	・ゴールデンウィークが長かったため、オフィス街の売上は通常よりも減少した一方、繁華街では増加した。連休明けは個人客が減少し、会社宴会などの団体客の利用は増えたが、1週間の間にも浮き沈みの波がある。
		観光型旅館(管理担当)	・皇太子殿下の御即位に伴う10連休のお陰で、来客数が増えている。
		旅行代理店(店長)	・令和への改元や、ゴールデンウィークの10連休などで、客の動きが良かった。先行きにも新たな希望を感じているのか、明るい雰囲気となっている。
	変わらない	一般小売店[菓子](営業担当)	・前月は売上、販売量共に好調であったが、大型連休も終わり、今月は販売量の伸びが非常に悪い。
		百貨店(営業担当)	・月初めの大型連休では、富裕客は海外、国内旅行を楽しみ、何人かの客は百貨店での高額品の買物を控えている。一方、消費税の増税を控えて、例年は秋に開催される大型催事が、今年度は今後半に開催され、高額品の買上が好調となっている。
		百貨店(営業推進担当)	・大型連休の終盤以降、単価の下落傾向が続いている。
		百貨店(商品担当)	・10連休でスタートした5月は、祝賀ムードや天候の良さ、食品の催事による集客効果も加わって、来客数が都市部を中心に順調となった。気温の上昇とともに、夏物衣料や雑貨の動きも増え、おおむね順調に推移している。また、インバウンド売上は化粧品を中心に安定しているほか、展開時期が早まっているランドセルは、消費税増税前の需要もあり、すべり出しから好調に推移している。

変わらない	百貨店（マネージャー）	・大型連休の消費疲れで、5月の2週目以降は購買動向に力強さがなかった。また、中旬までは気温がやや低く、逆に月後半は真夏日を記録するなど、気温のアップダウンが激しく、本来の初夏の陽気が味わえる日が少なかった。それに伴い、本来の売れ筋である軽めの羽織物の売行きが鈍く、売上に悪影響が出ている。	
	スーパー（店長）	・長期のゴールデンウィークで、旅行や余暇関連の出費が増えたため、その後は食品を中心に買い控えがみられる。	
	スーパー（経理担当）	・ゴールデンウィークの10連休に大きな山場はなく、売上の大きな増加はみられなかった。改元に伴う祝賀ムードもあったが、こちらも大きな売上増にはつなげていない。	
	スーパー（販売促進担当）	・食品スーパーの競合各社をみると、多少の優劣はあるものの、既存店売上は横ばいか前年割れが続いており、上向き気配は感じられない。ゴールデンウィークの10連休は好天が続き、消費意欲の高まりも期待されたが、期間が長すぎたせいか、需要が間延びし	
	衣料品専門店（経営者）	・10連休の後半は、ある程度の来店があった。月末になって、改元疲れか、来客数が減ってきている。食品関係の値上げが発表された関係もあり、財布のひもも固くなっている。	
	家電量販店（店員）	・今月の10連休は、売上がやや伸びた程度で、大幅に増えたわけではない。逆に、連休の終了後は閑散としており、月全体では売上に大きな変化はない。一方、客の間では、商品を購入する時期について悩んでいる様子がうかがえる。	
	その他専門店〔食品〕（経営者）	・特に変化はないが、ゴールデンウィーク前の注文が前年よりも多かった分、ゴールデンウィーク明けは抑え気味である。	
	一般レストラン（経営者）	・10連休は家族連れで来客数が増えたが、連休明け以降、商店街は人通りが少なく、来客数も伸びていない。	
	都市型ホテル（客室担当）	・例年、ゴールデンウィーク明けは来客数が落ち込む傾向にあるが、今年は10連休の反動で、落ち込みが長かった。稼働客室数も前年比で5%減と悪化している。	
	旅行代理店（営業担当）	・10連休明けの需要は想定を上回っている。ただし、国際情勢のほか、消費税増税や参議院選挙といった国内情勢にも不透明な面があり、楽観できる状況ではない。	
	タクシー運転手	・ゴールデンウィークの10連休明けなので仕方がないが、月末は少し上向いたものの、米中貿易摩擦の影響で、動きは今一つである。	
	タクシー運転手	・ここ数か月は、10連休を含めても余り変化はない。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・大型連休の影響か、例年以上に連休明けの落ち込みが大きく、商店街の飲食店を含めて苦戦している。
		百貨店（売場主任）	・ゴールデンウィークの10連休もあって、旅行者を除く既存客の来客数が減少した。衣料品関係の落ち込みが激しく、店舗全体で前年比3%減となっている。ただし、宝飾品や特選品、美術品など的高額品については好調を維持している。
百貨店（外商担当）		・今年は初めて10連休となったため、旅行などの外出が増えたのか、店頭への来店が例年よりも少ない。インバウンドは前年を上回って推移しているが、化粧品などが中心で、高額商品は売れていない。	
百貨店（特選品担当）		・直近の3か月間はインバウンド、国内客共に、売上は前年比でプラスと順調に推移していた。特に、4月は大きく前年を上回った。一方、5月に入り、ゴールデンウィーク中はインバウンド、国内客共に順調に推移していたが、連休後は前年比でマイナスとなる売場も出ている。明らかに今までは潮目が変わったように感じられる。	
百貨店（マネージャー）		・大型連休明けの消費は、予想どおり国内客の動きが厳しい。国内客の現金売上は前年比で1.8%減と、母の日商戦などのメイン商材や服飾関連が不調である。その反面、地区全体では、インバウンド需要が消耗品を中心に25.6%増と伸びている。	
百貨店（宣伝担当）		・連休後は売上、入店数共に苦戦している。大きなシェアを占めていたインバウンド売上も、消耗品は堅調であるが、高額品の伸びは鈍化している。国内客についても、財布のひもが固くなっており、単価が下がってきている。	
百貨店（売場マネージャー）		・前年よりも気温が高く、来客数も前年を上回っているが、衣料品が苦戦している。特に、ゴールデンウィーク明けが非常に厳しい状況であったほか、衣料品では高額品や年齢層の高いゾーンでの苦戦が目立つ。	
スーパー（経営者）		・月前半の大型連休では、ごちそうや内食、中食需要が増え、例年よりも若干盛り上がったが、期待したほどではなかった。母の日以降は、節約ムードが広がるなかで、清涼飲料や食用油、牛乳、ヨーグルトなどの値上げが本格化し、買い控えムードが広がっている。	
スーパー（管理担当）		・ゴールデンウィーク以降、価格競争が一段と激しくなっている。	
家電量販店（人事担当）		・ゴールデンウィークの10連休には、消費税増税前の駆け込み需要とみられる動きがあったが、連休以降は来客数も前年を下回り、景気の冷え込みを感じる。	
その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）		・ゴールデンウィークの前半は天候に恵まれず、客足が伸び悩んだ一方、後半は天候が良かった分、行楽に出掛ける人が増え、買物客が少なく感じた。その後、休み明けの買い控えも目立ち、来客数、売上共に悲惨な動きになっている。	
一般レストラン（経理担当）		・10連休によって、非正規雇用者の収入が減少したため、財布のひもが固くなっている。ゴールデンウィークによる影響は、連休後もほぼ2週間続いている。	
都市型ホテル（スタッフ）		・好調であった宿泊が、ゴールデンウィーク以降、急激に落ち込んでいる。インバウンドは東南アジア諸国からの動きが好調であるが、国内のビジネス客が落ち込んでいる。市場に供給過剰で、単価が合わなくなってきていると感じる。一方、宴会部門は厳しい中でも堅調である。	
旅行代理店（支店長）		・ゴールデンウィークでの予想以上の出費で、財布のひもが固くなる客が多い。また、米中貿易摩擦などの影響による値上がりも多い。こういった状況は長引く可能性が高いため、客が消費を控える傾向にある。	
旅行代理店（役員）	・ゴールデンウィークの反動や疲れがあるのか、客の動きが止まっている。		

家計関連	悪くなっている	一般小売店 [時計] (経営者) 百貨店 (売場主任) 観光型旅館 (経営者)	<ul style="list-style-type: none"> ・10連休が終わっても来客数が少ない。客との会話では、10連休で旅行や外食にお金を使ったため、中旬から後半に掛けて引き締めるという声が多かった。静かで動きのない ・10連休後の入店数が極端に悪い。5月は前年比3.0%減で、全店売上は5.6%減と、月末にかけても回復の兆しはみえない。特に、食品の中では精肉が5.0%減と悪い一方、鮮魚は0.5%増と健闘した。食品全体では4.5%減となる見込みである。 ・10連休に需要が集中した結果、連休明けは激減している。働き方改革もあるなかで、この偏りへの対応は困難である。 	
	企業動向関連	なやま	その他サービス業 [店舗開発] (従業員)	・今月は大型連休の反動による買い控えが予想されたが、意外にも中旬には持ち直した。特に、大阪や京都などのターミナル駅では、インバウンド需要が徐々に高まり、それ以外の駅とは明暗がはっきりと分かれる形になっている。
		変わらない	食料品製造業 (従業員) 食料品製造業 (経理担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・大型連休も終わり、休み明けは受注が減ったが、月末近くには通常の出荷に戻りつつある。 ・10連休後は、得意先の販売量も余り増えておらず、それに加えて厳しい暑さが続いている。
雇用関連	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	・ゴールデンウィーク明けから本来のペースに戻りつつある。特に、入札関係の仕事は堅調であり、人材やスタッフも集まりやすく、ミスマッチングが少なくなっている。企業側は上手に派遣社員を利用していると感じる。	
	なやま	人材派遣会社 (営業担当)	・派遣登録数が、ゴールデンウィーク明けから激減している。	

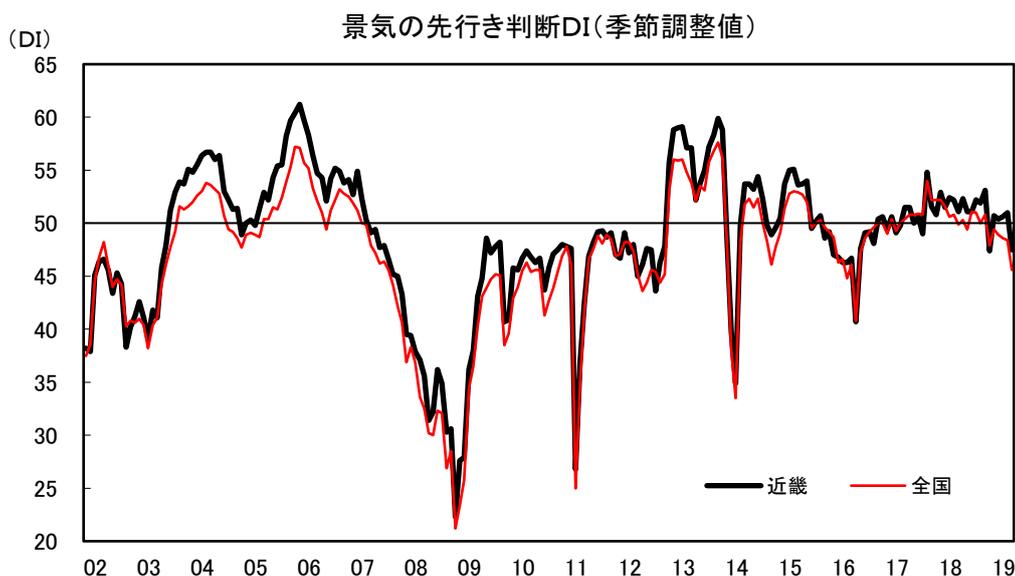
「G20大阪サミット」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	くやなる良	通信会社 (企画担当)	・改元やG20大阪サミット、東京オリンピックと、イベントによる効果が続く。
	変わらない	一般小売店 [衣服] (経営者)	・6月はG20大阪サミットなどで都心部の動きは鈍くなるが、郊外での動きは増えるなど、新たなビジネスチャンスは発生する。
		百貨店 (営業担当)	・食品が中心のため、売上が大きく左右されることはないが、GDP成長率や日米貿易交渉、G20大阪サミット、参議院選挙などでの、景気後退をイメージさせる報道がマイナスに働く可能性はある。
		百貨店 (商品担当)	・米中貿易摩擦での報復関税による悪影響が避けられない。また、今月の米国大統領による来日、来月のG20大阪サミット、参議院選挙、秋の消費税増税とつながるなかで、
		衣料品専門店 (店長)	・月末にG20大阪サミットを控え、物流面での停滞に関する情報が出てきている。それに加えて、消費税増税にも不透明な部分があるが、下向きにはならず、全体としては変わらない。
		一般レストラン (経営者)	・G20大阪サミットの影響や、予想される猛暑の影響がどうなるかといった不安要素が多い。
	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・G20大阪サミットが6月に開催され、交通規制が掛かる。大阪は国際会議に慣れていないため、混乱が予想される。	
くやなる悪	一般レストラン (経理担当)	・6月には大阪でG20サミットが開催されるが、広範囲の交通規制や大がかりな警備が予想され、物流への直接的な影響が心配される。さらに、7月には参議院選挙が予定されており、企業宴会が激減すると予想している。	
悪くなる	乗用車販売店 (経営者)	・米中貿易摩擦により株価も見通せず、日本企業にも大きな影響が出始めている。6月のG20大阪サミットで米中による歩み寄りがなく、交渉が決裂すれば、景気は更に悪化し、10月の消費税増税も実施できるかどうか分からない。しばらくは不安材料ばかりであり、景気は良くならない。	

「米中貿易摩擦」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	変わらない	百貨店(商品担当)	・米中貿易摩擦での報復関税による悪影響が避けられない。また、今月の米国大統領による来日、来月のG20大阪サミット、参議院選挙、秋の消費税増税とつながるなかで、消費は足元の不安定な動きが続くことから、景気の先行きには懐疑的な見方となっている。
		百貨店(営業企画)	・米中貿易摩擦は終息せず、国内景気も悪化の兆候が目立つ。消費税増税を控えた個人消費の更なる落ち込みなど、ネガティブな材料が多い。
		その他小売[インターネット通販](企画担当)	・消費税増税の実施が次第に現実味を帯びてきた。今後は駆け込み需要にも期待したいが、米中貿易摩擦などが消費にマイナスとなり、不安定な状況になることが懸念される。
		一般レストラン(企画)	・大きくは変わらないが、今まで良かった客単価にやや陰りが出てきている。10月の消費税増税や米中貿易摩擦の影響といったマイナス材料もあり、今後は心配される。
		都市型ホテル(総務担当)	・2~3か月後の宿泊予約は、前年を上回る動きであるが、米中貿易摩擦などの国際情勢の変化により、インバウンドの動きがどう変わるかは不透明である。
		その他住宅[情報誌](編集者)	・米中貿易摩擦の行方に左右される。短期的なリスクが下がり、株高などの動きが出てくれば、上向き可能性はある。
	やや悪くなる	百貨店(企画担当)	・米中貿易摩擦などによる、日本経済への直接、間接の影響が出てくる。小売業界では、消費者の不安心理によって売上が左右されるケースが多い。
		百貨店(売場マネージャー)	・消費税増税や株価の低迷、米中貿易影響といった不安材料が多く、消費マインドの低下が予想される。また、6月以降の食料品の値上げも多いため、家計が更に圧迫される。
		観光型ホテル(経営者)	・米中貿易摩擦の影響が出てくる。消費税増税もあり、今後は期待がもてない。
		通信会社(経営者)	・米中貿易摩擦が懸念材料である。
	悪くなる	百貨店(売場主任)	・米中貿易摩擦の影響もあり、株価が低迷気味である。当社の上位客による高額品の購入にも、大きな影響が予想される。
		百貨店(マネージャー)	・関税問題で米中関係が悪化すれば、株価が下落し、比較的好調な高額品の動きにも影響が出てくる。
乗用車販売店(経営者)		・米中貿易摩擦により株価も見通せず、日本企業にも大きな影響が出始めている。6月のG20大阪サミットで米中による歩み寄りがなく、交渉が決裂すれば、景気は更に悪化し、10月の消費税増税も実施できるかどうか分からない。しばらくは不安材料ばかりであり、景気は良くならない。	
企業動向関連	変わらない	金属製品製造業(営業担当)	・インバウンドや東京オリンピックに関連した建築需要が期待できる一方、米中貿易摩擦による景気全般への悪影響も懸念される。取引先の間にも、設備投資や在庫の増加に慎重な姿勢がみられる。
		司法書士	・米中貿易摩擦もあって心配であるが、現状が維持できればよい。
	やや悪くなる	化学工業(管理担当)	・米中貿易摩擦の先行きが不明なため、取引先の受注予想は悲観的である。
		金属製品製造業(経営者)	・米中間の関税問題で、中国向けの出荷が減少傾向となる製品が多く、先行きが不安である。
雇用関連	くやなる良	金融業[投資運用業](代表)	・米中貿易摩擦の影響があるほか、本当に消費税増税が実施された場合の不安感から、消費は控えられる。
		人材派遣会社(支店長)	・米中貿易摩擦の状況次第であるが、まだしばらくは好調が続くそうである。
	変わらない	職業安定所(職員)	・新元号のスタートに伴い、企業の経済活動が活発化する期待よりも、米中貿易摩擦による影響や、中国の大手IT企業の問題の方が大きい。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		17年					18年					19年														
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
現 状 判 断	近畿	51.4	52.2	52.9	51.3	51.9	52.3	53.4	55.7	52.0	50.8	50.6	50.7	48.6	49.2	47.5	49.7	49.0	51.3	50.8	49.9	45.4	48.0	47.0	47.2	45.1
	(全国)	49.8	50.6	50.3	50.0	50.9	51.1	52.9	52.9	49.9	49.0	49.6	49.5	47.9	48.8	47.1	48.7	48.3	48.6	49.5	46.8	45.6	47.5	44.8	45.3	44.1
先 行 き 判 断	近畿	51.5	51.5	50.0	50.6	49.0	54.8	51.6	50.8	52.9	51.5	52.4	52.2	51.1	52.3	51.1	51.1	52.2	51.9	53.1	47.4	50.7	50.4	50.6	51.0	47.5
	(全国)	50.4	50.8	50.8	50.9	50.8	54.0	52.2	52.2	52.2	51.6	50.6	50.8	49.9	50.3	49.4	51.1	51.0	50.0	50.8	47.9	49.4	48.9	48.6	48.4	45.6

※季節調整値